

第387回 東京大学図書行政商議会議事要旨

日 時 平成20年7月30日(水) 10:00~11:50

場 所 総合図書館3階 大会議室

出席者 <委員長> 西郷和彦 <副委員長> 廣瀬久和 <委員> 美代賢吾(代)、高田毅士、藤原克己、大越慎一、長澤寛道、小幡道昭、鍛治哲郎、根本 彰、村田茂穂、時弘哲治、横山明彦、土肥健純、石上英一、三宅健介、岩崎貴哉、池本幸生、加瀬和俊、工藤一秋(代)、久留島典子、川崎雅裕、金道浩一、木暮一啓、玉井克哉

(代)は代理出席者

<オブザーバー> 石井洋二郎、三谷啓志、岸田省吾、榎屋友子

欠席者 渡邊嘉典

列席者 星野雅英、栃谷泰文、木村 優、藏野由美子、市村櫻子、中井雪子、森 啓介、山本和雄、合田美恵子、風巻利夫、高嶋秀介、吉田左貴子、高杉泰穂、前田哲男、石川一樹、本多 玄、飯塚亜子、細谷孝子

- 配付資料
1. 第386回図書行政商議会議事要旨
 2. 東京大学柏図書館運営委員会規則(案)
 3. 東京大学総合図書館大規模改修案
 4. 図書職員のあり方の改善(基本的考え方)(素案)
 5. 附属図書館サービス特別委員会(平成20年度第1回)議事次第
 6. 第36回総合文化研究科図書委員会及び第13回駒場図書館運営委員会議事次第
 7. 平成20年度第1回柏図書館運営委員会議事次第
 8. 平成20年度附属図書館特別展示会の企画について
 9. 東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム(EMP)受講生の図書利用について(依頼)
 10. シンポジウム「学術情報流通の改革を目指して～電子ジャーナルが読めなくなる!?～」の開催について(国立大学図書館協会)
 11. 学術情報流通の改革に向けての声明文(国立大学図書館協会)
 12. 大学が学術雑誌買えない(読売新聞記事:20.6.18)

<開 会>

- ・西郷委員長の主宰のもとに開会した。
- ・西郷委員長挨拶の後、代理出席者の紹介があった。

<議 事>

1. 前回議事要旨の確定

西郷委員長から、第386回議事要旨を資料1のとおり確定し、ホームページで公開した旨報告があった。

2. 協議事項

(1) 東京大学柏図書館運営委員会規則の改正について

三谷柏図書館長から、資料 2 にもとづき、第 2 条第 4 項の委員の任期を 2 年から 3 年に延長すること、及び第 2 条第 3 項第 2 号の・工学系研究科を・工学系研究科又は情報理工学系研究科に改正する旨説明があり、案のとおり了承された。

(2) 東京大学総合図書館改修計画について

西郷委員長から、総合図書館は再建後今年で 80 周年を迎える。関東大震災の後ロックフェラー財団のご寄付によりこの建物ができ、その後 2 回小規模な改修工事を行ったが、今回、アメニティの向上と収納力の増強を目的とする大規模な改修を提案したい。以前、図書行政商議会で推進することをお認めいただいた中庭に 100 万冊程度の能力を持つ自動化書庫を建設する案については、設計事務所にフィージビリティの調査を依頼したところ、現在の厳しい消防法、耐震基準法、建築基準法に基づく総合図書館だけでなく、図書館団地や全体に適用されることが想定されるため、設計的にも経費的にも建設は難しいという結論が得られた。しかし、文系図書館・室がオーバーフローしている状態を考えると収納スペースの新たな確保が必要である旨説明があった。

栃谷総務課長から資料 3 にもとづき、東京大学総合図書館改修計画について説明があった。

これについて、質疑応答が行われた。おもな点は次の通り。

- ・(委員) 南葵文庫は、特殊コレクションとしてまとめ、もとの形態で保存すべきではないか。
- ・(栃谷総務課長) 南葵文庫は大部のコレクションでありまとめることは困難であるが、貴重書及び準貴重書は別置することを予定している。
- ・(委員) 今回の総合図書館改修計画のうち 50 万冊の収納力増強については、図書行政商議会で WG を置いて検討してきた文系共同保存書庫計画として、総合図書館の中庭に 100 万冊の自動化書庫を設置する計画とはどのような関係があるのか。まったく無関係であるとすれば問題である。
- ・(委員) 文系共同保存書庫 100 万冊分の建設計画について図書行政商議会で WG が設置されたのは、それが文系部局だけの問題ではなく、全学の問題であるとされたからである。その計画を捨てて、別の目的の計画が出されているのでは納得できない。
- ・(西郷委員長) 今回の総合図書館改修計画は、検討いただいた文系共同保存書庫計画とは、直接的にはリンクしていない。文系共同保存書庫計画は、文系 7 部局の科所長から大学への要望に図書館として協力するため、以前から構想のあった総合図書館中庭に自動化書庫を設ける案を提案し図書行政商議会で諮り WG で検討していただいた。中庭の自動化書庫が困難となり、総合図書館内既存書庫の改修により 50 万冊分の増強を計る案を作成したが、この 50 万冊分スペースの用途は、全学的な検討が必要となるであろうし、具体的には、図書行政商議会や総合図書館運営委員会での検討となるだろう。
- ・(委員) 文系共同利用書庫の建設が困難になったことは報告事項として独立すべきである。「東京大学総合図書館改修計画について」は文系共同保存書庫とはリンクしていないという説明では、将来への見通しがたたないので困る。この件について、西郷館長は、7 部局の科所長にどのように説明されたのか。
- ・(西郷委員長) 7 部局の科所長には、従来の中庭に自動書庫を設置する案は、法律の改正により困難となった、総合図書館の改修を行えば 50 万冊収納力を増強することができるが、これを各部局がどのように考えるかについて、各部局でご検討いただきたい、やはり 100 万冊が必要とのことであれば、本郷のほかの場所や柏が考えられると説明した。

- ・（委員）総合図書館改修の資金計画と、増強された50万冊分の運営について伺いたい。
- ・（西郷委員長）改修計画のうち、空調設備の更新を21年度の概算要求に大学からだしていただくことになった。自動化書庫、電動集密書庫については、概算要求のほか寄付も考えている。運営は総合図書館だけで50万冊を使うつもりはないが、総合図書館以外で利用する場合は受益者負担を考えている。

西郷委員長から、総合図書館改修計画を認めていただきたい旨発言があり了承された。

（３）図書職員のあり方の改善について

星野部長から、従来から図書職員のキャリアパス、処遇、職制について、図書行政商議会等において議論されてきており、19年3月には「キャリアパス計画」を提案し、その際、具体的な制度設計を行うこととなったこと、19年7月に職員評価第2次試行の際、図書職員は専門シートにより職務行動評価試行を行ったことなどの経緯と提案趣旨が説明され、具体的な事項について資料4にもとづき、説明があった。

意見交換では、次のような意見がだされた。

- ・（委員）図書館職員の所属について、最初は形式的な所属としても、いずれ中央集権化していくことも考えられ、大きな問題だと思う。全体を視野に入れて議論することが必要ではないか。
- ・（西郷委員長）ある意味では部局という縦割りの組織が基本のところには図書館・室という横の組織があって、そのバランスをどのように取るかということになる。しかし、縦割りは限界に来ており各部局毎に、受入発注その他を個々にやっているという現状を改善しないと皆共倒れになる。そういう意味で縦割りの基本的な立場からも納得できる集合化というものを模索していきたい。次回に意見交換をお願いしたい。

３．報告事項

（１）平成21年度概算要求について

栃谷総務課長から、「空調設備の更新」を提出し、大学から文部科学省へ要求した。それと、全国の貴重書の電子化に関する予備調査経費として「日本古典籍のデジタルアーカイブ化へ向けての調査事項」を提出したが、大学から文部科学省への要求には入らなかった旨報告があった。

（２）附属図書館サービス特別委員会

木村情報管理課長から、資料5にもとづき報告があった。

（３）駒場図書館運営委員会

石井駒場図書館長から、資料6にもとづき報告があった。

（４）柏図書館運営委員会

三谷柏図書館長から、資料7にもとづき報告があった。

（５）平成20年度附属図書館特別展示会

藏野情報サービス課長から、資料8にもとづき特別展示会「かわら版・鯨絵にみる江戸・明治の災害情報—石本コレクションから」を10月24日から11月26日まで開催する旨報告があった。

（６）東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム（EMP）受講生の図書利用について

栃谷総務課長から、資料9にもとづき10月からEMPが開講することになり、EMPの受講生の図書館の利用について山田理事から文書で依頼があったので、大学院修士課程相当で附属図書館を利用させることにした旨報告があり、また、この件については、各部局図書館・室においても対応いただき

たい旨依頼があった。

- (7) 国立大学図書館協会シンポジウム「学術情報流通の改革を目指して～電子ジャーナルが読めなくなる！？～」

栃谷総務課長から、資料 10・11・12 にもとづき 5 月 1 日に理学部小柴ホールを会場にして行われ、電子ジャーナルの継続的な確保について、大学側及び出版社側双方から活発な議論が交わされた旨報告があった。

- (8) 平成 19 年度附属図書館年次報告 (冊子)

栃谷総務課長から、平成 19 年度附属図書館活動報告書にもとづき報告があった。

4 . その他

- ・学術機関リポジトリの登録推進方策等について質疑応答があり、西郷委員長から、各委員に協力方の依頼があった。

閉 会